

まえがき

すでに、伝説となっている「バブル時代」……。

日本中がモノとお金で彩られていた、そのバブル時代に青春を謳歌した私。

その影響は大きく、「モノが人を幸せにする」と、固く信じていました。

しかし、結婚を機に子育てや介護・地域社会との関わり合いを経験したことで、決して「モノが人を幸せにはできない」ということを痛感しました。

自分が大切にしていた価値観が、ガラガラと音を立てて崩れていくのを感じ、心の中にぼつかり穴が開いた状態だったように覚えています。

ある意味、目に見えるものしか信じなかった私ですが、友人からの強い勧めで、無縁であった心理学という世界の扉を開いたのです。

そこで、「なぜそう思うのか？ そう感じるのか？」という心のメカニズムを学ぶこと
によって、ただただ「嫌だ」「つらい」「悲しい」という負の気持ちから解放され、そう
思ってしまう自分自身の想いを整理し認められるようになりました。

そのことをきつかけとして、心の勉強を本格的に始めることにしたのです。

深く勉強していくと、ひとつの疑問が湧いてきました。

言葉で表現できる想いだけが、自分自身の想いなのでしょうか？

皆様はどう、お考えになりますか？

言葉にならない想い・整理できていない想いは必ず心の中（潜在意識）にあり、その想いを表現できることが自分自身の想い（顕在意識・潜在意識）を、本当に知ることになるのではないのか！

そんな思いから、言葉での表現以外に想いを知る方法が、きつとあるはずだと考えるようになり、ついにアートとの出会いが、私の次の世界の扉を開くことになりました。

アートで想いを表現することで、自分自身の想いを可視化することができます。

可視化されたアートには、顕在意識・潜在意識の両方の想いが表現される特性があることから、そのアートの特性を活かすことによって、本来の想いを明確化できるツールになると考えたのです。

自分自身が何者で、「何を思い、何を感じ、何をしたいのか!?」そして「どう生きていきたいのか!?」という当たり前の想いを明確にすることこそが、望む幸せにつながる唯一のものだと知ったのです。

方程式 モノ／＼想いの明確化＝望む幸せ

この方程式を、私だけではなく、この世に生を受けたすべての人たちに伝えたい！
アートの特徴をツールとして、望む幸せを実現するお手伝いをしたいと思うようになりました。

人生において、想いの明確化はとても大切であり、必要なことです。

すべての人々は、人生の経営者といえますが、実際に経済活動をしていて雇用や人材育成（教育）をし、社会を支えている企業のトップである経営者のことを中心にお話ししていきたいと思います。

なぜならば、影響力のある経営者こそ、想いを明確にして経営をしていくことが、多く

の人々の幸せにつながる重要な要因だと考えるからです。

本書では、経営者の皆さんに3つのことをお伝えしていきたいと思っています。

第一は、人として「どうありたいのか!?」「どう生きたいのか!?」という人生理念の明確化。

第二は、経営者として「どういう経営がしたいのか!?」「どういう会社を創りたいのか!?」という経営理念の明確化。

第三は、人として・経営者としての「夢のかたち」「未来図」というビジョンの明確化。

この3つの明確化が、「想いの完成形」になるのではないのでしょうか？

想いを完成する（言語化）することで、モノではなく、他者でもなく、経営者自身が望む幸せをつかむスタートラインに立つのだと思います。

「このように生きていく!」「このように経営していく!」「未来をこのように創造していく!」という想いを活かして行動すること（ビジネスモデル化・ブランディング・仕組み化）により、嘘のない経営者自身の想いの経営が実現することでしょう！

これこそ、自己実現の経営です。

自己実現は、自分自身の生きていく想いを明確化することから始まります。
そのことを、考えながら読んでいただけるとうれしいです。